

様式C－39〔作成上の注意〕

1. 研究機関に所属する研究代表者のうち、当該所属研究機関より補助金の管理の委任の承諾が得られなかった者及び研究機関に所属しない研究代表者は、本様式を用いて作成し、領収書等関係書類と合わせて、研究代表者が保管すること。
2. 日本学術振興会への提出にあたっては、原本ではなく写しを提出すること。なお、提出にあたっては、様式C－32「実績報告書（収支決算報告書）」、様式C－33「実績報告書（研究実績報告書）」及び解約後の預金通帳の写しとともに提出すること。
3. 課題番号、研究代表者氏名、交付決定額、研究課題名は交付決定通知書等によく確認すること。
4. 年月日の順にその収支を詳細に記入すること。
5. 「摘要」の欄には、品名、数量等次の事項を記入すること。
 - (1)「物品費」の場合　－　品名・数量
 - (2)「旅　費」の場合　－　旅行先、旅行期間
 - (3)「謝金等」の場合　－　研究補助作業従事者等氏名、作業従事期間
 - (4)「預金利息」・「解約利息」
6. 「支出費目」の欄には、物品費、旅費、謝金等、その他の別に記入すること。また、様式C－39別紙「支出費目別の注意事項」に留意すること。